明治40年、前人未到の山に挑む。
日本地図最後の
空白地点を埋めるために――

劔岳 点の記

原作　新田次郎「劔岳　点の記」（文春文庫刊）

監督　木村大作　脚本　仲間　達

浅野忠信
香川照之
松田龍平
宮﨑あおい
仲村トオル
小澤征悦
井川比佐志
國村　隼
夏八木　勲
役所広司

製作　「劔岳　点の記」製作委員会
東映　住友商事　朝日新聞社
フジテレビジョン　北日本新聞社

配給　東映

2009年 初夏 全国ロードショー

www.tsurugidake.jp NOT FOR SALE

誰かが行かねば、道はできない。

日本地図完成のために命を賭けた男たちの記録

トゥルーストーリー

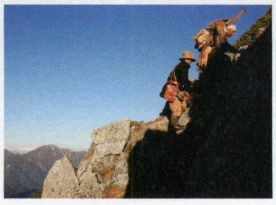
明治40年（1907年）、その険しさ、神秘さから「針の山」と云われた未踏峰・劔岳に挑んだ男たちがいた――陸軍参謀本部陸地測量部の測量手・柴崎芳太郎率いる測量隊7名。だが、ガレキだらけの尾根、雪崩や暴風雨など想像を超える困難が彼らの行く手を阻む。そんな中、創立間もない日本山岳会の劔岳登頂計画が…。陸軍の威信にかけても初登頂をというプレッシャーのもと、柴崎たちは、無事2999mの劔岳頂上に到達し、地図作りの任務を果たせるのか…。

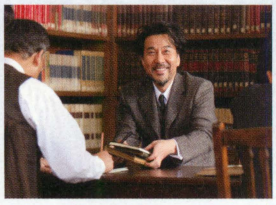
原作は『八甲田山　死の彷徨』『武田信玄』などの著者、新田次郎の同名小説。監督・撮影は、木村大作。この作品に〝失われつつある日本人の持つべき魂の姿がある〟と思いを募らせ、日本人の心と自然を撮り続けてきたキャメラマン・木村大作が50年の映画人生全てをかけて取り組む。

出演者は、柴崎芳太郎に浅野忠信、案内人・宇治長次郎に香川照之、測夫・生田信に松田龍平、柴崎の妻・葉津よに宮崎あおい、山岳会・小島烏水に仲村トオル、元測量手・古田盛作に役所広司ら、日本のみならず世界で活躍するキャストがそろった。

延べ200日以上を費やし、今も最難関といわれる劔岳、そして立山連峰でのロケーション撮影を敢行。四季折々の美しくも厳しい自然、そこに挑む人間の慎ましきたたずまいをフィルムに収める。

ここにあるのは、決して名誉のためではなく、利のためでもない、仕事に誇りをもって挑む男たち。いまの日本人が失くしつつある、日本のこころの物語である。





2009年 初夏 全国ロードショー